

事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

前年から続く新型コロナウイルス感染症の蔓延が経済、社会活動に停滞をもたらし、当会活動の柱となっている「語らい座 大原本邸」事業、また講演会の開催等においても多大な制約がある中での活動となった。

緊急事態宣言等の発出により、「語らい座 大原本邸」は年間約3か月間の休館、あるいは営業縮小をせざるを得ず、また年間を通じて倉敷美観地区への来訪者は少ない状況が続いた。その中では「語らい座 大原本邸」では特別入館プランの設定や小学校の授業の一環としての誘致等により、来館数の獲得による収益の確保とともに大原孫三郎をはじめとする大原家の紹介に努力した。

また「大原孫三郎・總一郎記念講演会」「くらしき未来 K 塾」の開催等においても新型コロナウイルス感染症の影響は避けられないものであったが、感染防止策の徹底、ネットの利用を図りながら、できる限りの開催継続を図った。

財務面では「語らい座 大原本邸」の入館料等の事業収益が 10,975 千円（前期比+1,597 千円、コロナ前 H31 年度比△8,610 千円）と引続き低迷し、またコロナ対策による国等からの給付金、雇用調整助成金等についても 6,500 千円（前期比△9,313 千円）となった結果、指定正味財産からの振替前の経常収益は 47,527 千円（前期比△8,685 千円）となった。

経常費用はパート人員等の削減による人件費 33,319 千円（前期比△2,525 千円）等の経費削減に努めたが、前年度支払猶予となっていた固定資産税 2,984 千円の支払等の経費増加があり、65,870 千円（前年比△1,077 千円）となった。

結果、指定正味財産からの振替前の一般正味財産増減額は△18,343 千円となっている。

なお、減価償却費 19,903 千円を除き、当期の CF は 1,560 千円を確保し、また当期末正味財産は 18,175 千円（前期比△18,343 千円）となっている。

主な活動は以下のとおり

1. 語り座 大原本邸事業

(1) 入館者数、入館料収入

<入館者数（有料）>

（人）

合計	一般		高校生以下	
	個人	団体	個人	団体
16,734	15,611	235	543	345

当年度においても、昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の低迷が続き、「語り座 大原本邸」事業は極めて低調な結果となった。

岡山県下では令和3年5月16日～6月20日、8月27日～9月12日、令和4年1月27日～3月6日、緊急事態宣言または蔓延防止措置が発出され、その間においては当館も休館あるいはカフェ営業を中止しての縮小営業となった。

また通常の開館時においても、東京、大阪等、当館の半数程度の来館者の出発地となる大都市部では緊急事態宣言等が発出されており、また倉敷美観地区の主要施設である大原美術館でも休館、あるいは開館時間の短縮が続き、年間を通じて倉敷美観地区への客足が回復することはなかった。

このような状況下においても入館者数、収入を確保するため、割引券配布範囲の拡大、JR や旅行会社の企画商品への新規参加、高額での特別入館企画の実施、また大原孫三郎を学ぶ倉敷市小学生の誘致活動等を実施した。新型コロナウイルス感染症が拡大減少を繰り返す中で、これら施策の当年度における効果は限定的ではあったが、小・中・高生の受入等、来期以降期待できるものと思われる。

結果、当期入館者数は 16,734 人（前期比+64 人、コロナ前 H31 年度比△15,406 人）、入館料収入は 8,582 千円（前期比+983 千円）、カフェ収入は 2,227 千円（前期比+584 千円）となった。

(2) ぐらしき未来 K 塾

「教育」を重視する大原家の理念に基づき、「未来を育てる人材の育成」を目的とした「ぐらしき未来 K 塾」を 7 回開催した。

なお第 24～28 回については昨年度に続き、倉敷市のキャリア教育指導者育成事業（「高梁川流域未来キャリア教育セミナー」）として助成を受け、参加料を無料としており、より多くの方に参加いただいている。

また、本年度より大原孫三郎の業績を紹介するセミナーを「ぐらしき未来 K 塾」の中に設定し、実施した。

<くらしき未来K塾 開催状況>

回	開催日	テーマ（演題）	講師	参加人数
第23回	4/24	『自然をうつすということ ～和菓子作りで体感する日本文化の粋～	清水 努 氏 (有)清風庵 専務取締役	20
第24回	8/21	キャリアカウンセリング力 ：先生の「自分」探検ワークショップ	江森 真矢子 氏 (一社)まなびと代表理事	21
第25回	9/25	巻き込み力 ：ループリック作りとその活かし方	山下 陽子 語らい座大原本邸 館長	36
第26回	10/23	キャリアデザイン力 ：「30年後」を想像して「今」を画く	光畑 由佳 氏 (有)モーハウス 代表	19
第27回	11/27	「DXの思考法」と教育 ：未来社会への鍵を握るのは学校	合田 哲雄 氏 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官	33
第28回	12/25	チームビルディング力 ：チームで活気ある学校を創る	平田 善久 氏 岡山県教育委員会 学校教育推進監	38
第29回	1/22	大原孫三郎の事績① ～倉敷日曜講演～	水島 博 語らい座大原本邸学芸員	13

(3) 特別展

「大原家と大原美術館」外、2回の特別展の開催を予定していたが、感染症の予防、また入館料収入が激減する中で経費削減の必要性もあり、開催を中止した。

2. 大原孫三郎・総一郎記念講演会

「第65回大原孫三郎・総一郎記念講演会」は当初7月開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により10月7日に延期し、聴衆者を90名に限定した上、倉敷公民館大ホールにて開催した。

今回は創立100周年を迎えた大原記念労働科学研究所との共催にて、同研究所の100周年記念シンポジウム「わたらの眼は<100>年先が見える」と題して開催した。

昨年度の講演会が中止になったこともあり、開催にあたっては多くの問い合わせをいただき、聴衆者枠はすぐに埋まる状況であった。

基調講演	講師 江上 剛 氏（作家） 演題「百年先が見えた男－大原總一郎」
シンポジウム （パネリスト）	「大原孫三郎の思いを紡ぐ労働科学研究所－SDGs と地域企業－」 坂本 恒夫 氏（大原記念労働科学研究所所長） 北島 洋樹 氏（同 副所長） 余村 朋樹 氏（同 研究部長）

3. 所蔵資料の整理、調査、研究及び公開

大原家が所蔵している大原孫三郎・總一郎に関する書簡・書籍など諸資料の分類整理を継続的に行っている。

本年度においては約 400 点の資料整理を行ったが、「語らい座 大原本邸」の休館に伴いアルバイトの出勤停止措置をとったこと等から、整理件数は例年の 2,500 件/年から大幅に減少している。

4. 大原總一郎日記研究会

国土舘大学教授阿部武司氏を中心とする 7 名の研究者グループにより、大原總一郎日記（全 100 冊）の研究を継続している。本年度はこれまでの研究成果を含め、仮翻刻 大原総一郎日記 第 4 冊(日記 No,13～16)を製本、刊行した。

なお、本年度の研究会開催 4 回の内、2 回がネット開催となった。

* 事業報告の附属明細書はありません。

以上

貸借対照表

2022年3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,662,482	17,700,252	962,230
売掛金	817,540	1,700	815,840
商品	50,112	103,680	△ 53,568
前払費用	40,000	80,000	△ 40,000
流動資産合計	19,570,134	17,885,632	1,684,502
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(基本財産)	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	119,686,147	126,433,160	△ 6,747,013
建物附属設備	55,548,943	62,547,210	△ 6,998,267
構築物	5,482,988	6,128,331	△ 645,343
機械及び装置	972,006	1,459,468	△ 487,462
器具及び備品	15,072,934	19,978,454	△ 4,905,520
商標権	563,808	657,776	△ 93,968
ソフトウェア	41,040	66,960	△ 25,920
その他固定資産合計	197,367,866	217,271,359	△ 19,903,493
固定資産合計	200,367,866	220,271,359	△ 19,903,493
資産合計	219,938,000	238,156,991	△ 18,218,991
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	249,392	183,181	66,211
預り金	135,252	144,458	△ 9,206
未払消費税等	478,400	411,400	67,000
流動負債合計	863,044	739,039	124,005
2. 固定負債			
長期借入金	200,900,000	200,900,000	0
固定負債合計	200,900,000	200,900,000	0
負債合計	201,763,044	201,639,039	124,005
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	15,028,170	33,371,166	△ 18,342,996
指定正味財産合計	18,028,170	36,371,166	△ 18,342,996
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	146,786	146,786	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	18,174,956	36,517,952	△ 18,342,996
負債及び正味財産合計	219,938,000	238,156,991	△ 18,218,991

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,090,000	4,390,000	△ 300,000
特別会費	3,500,000	3,800,000	△ 300,000
普通会費	200,000	200,000	0
賛助会費	390,000	390,000	0
事業収益	10,974,760	9,377,390	1,597,370
受取入館料	8,582,060	7,598,990	983,070
記念館事業収益	2,392,700	1,778,400	614,300
受取補助金等	24,842,804	26,547,069	△ 1,704,265
受取寄附金	25,615,850	26,600,000	△ 984,150
雑収益	346,643	31,620	315,023
受取利息	214	384	△ 170
経常収益計	65,870,271	66,946,463	△ 1,076,192
(2) 経常費用			
事業費	63,473,926	63,831,566	△ 357,640
人件費	29,183,283	31,545,805	△ 2,362,522
法定福利費	3,046,404	3,158,946	△ 112,542
福利厚生費	1,089,426	1,139,354	△ 49,928
材料仕入	614,471	506,399	108,072
水光熱費	1,142,662	941,797	200,865
清掃費	176,550	726,107	△ 549,557
修繕費	68,200	0	68,200
諸謝金	508,893	11,137	497,756
旅費交通費	207,770	127,866	79,904
通信運搬費	419,323	492,554	△ 73,231
印刷製本費	664,083	387,319	276,764
広報費	222,324	226,100	△ 3,776
賃借料	478,800	540,000	△ 61,200
リース料	1,033,024	953,208	79,816
消耗品費	845,062	492,454	352,608
諸会費	45,000	30,000	15,000
租税公課	3,464,800	411,400	3,053,400
保険料	0	19,860	△ 19,860
手数料	202,050	185,680	16,370
雑費	36,768	9,580	27,188
減価償却費	19,903,493	21,901,759	△ 1,998,266
会場関係費	90,860	22,945	67,915
接遇費	30,680	1,296	29,384
管理費	2,396,345	3,114,897	△ 718,552
通信運搬費	218,555	237,573	△ 19,018
会議費	8,292	11,316	△ 3,024
消耗品費	12,100	43,230	△ 31,130
租税公課	1,560	1,580	△ 20
手数料	880	770	110
雑費	145,960	811,430	△ 665,470
支払利息	2,008,998	2,008,998	0
経常費用計	65,870,271	66,946,463	△ 1,076,192
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産除却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
過年度遡及特別損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	146,786	146,786	0
一般正味財産期末残高	146,786	146,786	0
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	△ 18,342,996	△ 10,733,997	△ 7,608,999
受取国庫補助金	△ 18,342,996	△ 10,733,997	△ 7,608,999
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取配当金	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 18,342,996	△ 10,733,997	△ 7,608,999
指定正味財産期首残高	36,371,166	47,105,163	△ 10,733,997
指定正味財産期末残高	18,028,170	36,371,166	△ 18,342,996
III 正味財産期末残高	18,174,956	36,517,952	△ 18,342,996

財産目録

2021年3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金		運転資金	445,156
	預金	普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	9,346,854
		普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	8,870,472
	売掛金		入館料等	817,540
	商品		珈琲豆等	50,112
	前払費用			40,000
流動資産合計				19,570,134
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金(基本財産)	定期預金 中国銀行倉敷駅前支店	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他固定資産				
	建物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	119,686,147
	建物附属設備	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	55,548,943
	構築物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	5,482,988
	機械及び装置	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	972,006
	器具及び備品	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	15,072,934
	商標権		公益目的保有財産	563,808
	ソフトウェア		公益目的保有財産	41,040
固定資産合計				200,367,866
資産合計				219,938,000
(流動負債)				
	買掛金		公益目的事業を行うために必要な諸経費に対する未払金	249,392
	預り金		源泉所得税、社会保険料等	135,252
	未払消費税			478,400
流動負債合計				863,044
(固定負債)				
	長期借入金	個人より借入	記念館事業における設備投資の為	200,900,000
固定負債合計				200,900,000
負債合計				201,763,044
正味財産				18,174,956

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物、建物附属設備、構築物は定額法によっている。

上記以外の有形固定資産は定率法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
	0	0	0	0
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
合 計	3,000,000	3,000,000	0	0

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直説法により減価償却を行っている場合)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	146,674,199	26,988,052	119,686,147
建物附属設備	83,542,011	27,993,068	55,548,943
構築物	8,064,360	2,581,372	5,482,988
機械及び装置	4,918,320	3,946,314	972,006
器具及び備品	49,226,950	34,154,016	15,072,934
無形固定資産	4,957,280	4,352,432	604,848
合 計	297,383,120	97,015,254	200,367,866

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)
該当なし。
9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
該当なし。
10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし。
11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	国	33,371,166	0	18,342,996	15,028,170	指定正味財産
雇用調整助成金	岡山労働局	0	4,113,208	4,113,208	0	該当なし
一時支援金	経済産業省	0	600,000	600,000	0	該当なし
倉敷市事業継続特別支援金	倉敷市	0	200,000	200,000	0	該当なし
月次支援金	経済産業省	0	800,000	800,000	0	該当なし
コロナウイルス対策取組	商工会	0	87,000	87,000	0	該当なし
キャリア教育指導者育成事業	倉敷市	0	699,600	0	699,600	未収入金
合計		33,371,166	6,499,808	24,143,204	15,727,770	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし。
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

記念館事業に対する国庫補助金のうち18,342,996円を一般正味財産に振替。

14. 関連当事者との取引の内容

属性	氏名	取引内容	勘定科目	取引金額	金利
評議員	大原謙一郎	資金の借入	長期借入金	200,900,000	元金の1%

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当なし。
16. 重要な後発事象
該当なし。
17. その他
財務諸表に対する注記に同様の記載があるため、計算書類の附属明細書の記載を省略している。